

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【四半期会計期間】 第104期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 玉井商船株式会社

【英訳名】 TAMAI STEAMSHIP CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 本馬 修

【本店の所在の場所】 東京都港区芝浦三丁目2番16号

【電話番号】 (03)5439 - 0260(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 木原 豊

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝浦三丁目2番16号

【電話番号】 (03)5439 - 0260(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 木原 豊

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第103期 第3四半期 連結累計期間	第104期 第3四半期 連結累計期間	第103期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
営業収益	(千円)	4,818,881	4,872,145	6,646,135
経常損失()	(千円)	22,621	154,985	25,502
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(千円)	611,969	133,161	588,888
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	531,462	116,035	555,279
純資産額	(千円)	5,028,374	4,876,643	5,052,191
総資産額	(千円)	15,017,060	13,957,045	14,692,473
1株当たり四半期(当期)純 利益金額又は四半期純損失金 額()	(円)	31.69	6.90	30.50
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	32.5	33.8	33.3

回次		第103期 第3四半期 連結会計期間	第104期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	33.66	1.38

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成24年10月23日付で当社所有の特殊船1隻の売買契約を締結いたしました。その概要は次のとおりであります。

譲渡先	譲渡資産	譲渡時期
海外の第三者法人	特殊船「羽衣丸」 (載貨重量10,520トン、船齢23年)	平成25年1月9日

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな景気回復と留まり、欧州では債務問題の長期化により停滞が深刻化し、アジア、特に中国やインドなどの新興国では欧米の景気低迷を受け輸出が急減速したことなどから経済もペースダウンする結果となり、世界全体で経済が減速しました。一方、わが国では震災の復興需要が下支えしているものの夏場以降、個人消費や輸出が停滞し景気は低迷しました。

外航ドライバルク船の海運市況は、好況時に大量発注された新造船の竣工がピーク時を迎え老齢船の解撤が進んでいるものの船腹供給圧力が高い中、世界経済が減速し船腹需要が弱含みで推移しているところに米国で記録的な干ばつが発生し穀物などの荷動き停滞が重なり船腹需給バランスが崩れ、特に大型船では深刻な低迷が長期化しました。

このような状況下、当社グループの外航海運部門では、ハンディマックス船型を中心に堅実な営業活動を行い効率的な配船と運航に努めましたが、前第3四半期連結累計期間に比べ市況水準が低迷したことから収益が伸びず、対米ドルの為替相場が円高基調で推移したことに加え、燃料価格がUS\$700/MT前後で高止まりしたことなどから運航費が大幅に増加し非常に厳しい事業環境となり減益となりました。一方、内航海運部門では、ドライ貨物部門では国内経済の低迷で輸送量が減少し、タンカー部門では、安定収益を確保する目的で4月より新たに所有船1隻を定期貸船に変更したことなどから、部門全体として前第3四半期連結累計期間に比べ減収となりましたが、一部支配船の定期検査に伴う特別修繕引当金の取崩があり船費が減少したことなどにより増益となりました。当社グループ全体では、対前第3四半期連結累計期間比で増収・減益となりました。

この結果、営業収益は4,872百万円（対前第3四半期連結累計期間比53百万円、1.1%増）、営業損失は88百万円（前第3四半期連結累計期間142百万円の営業利益）、経常損失は154百万円（前第3四半期連結累計期間22百万円の経常損失）、また四半期純損失は133百万円（前第3四半期連結累計期間611百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・外航海運業

支配船舶による国内向けボーキサイト、北南米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミなどの輸送を行い、運航採算の向上に努めました。

営業収益は、前第3四半期連結累計期間に比べ、市況の低迷があったものの、短期用船の航海数が増加したことなどにより、3,880百万円（対前第3四半期連結累計期間比196百万円、5.3%増）となりました。営業費用は、燃料油価格が上昇したことによる運航費の増加、短期用船したことによる借船料の増加、前第3四半期連結会計期間にリプレイスした船舶に掛かる減価償却費（船費）の増加などにより全体として大幅に増加しました。以上の結果、営業利益は、105百万円（同 331百万円、75.9%減）となりました。

・内航海運業

所有船によるボーキサイト残渣輸送、定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船2隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第3四半期連結累計期間に比べ、新たに所有船1隻を自社運航から定期貸船に変更したことなどにより、881百万円（対前第3四半期連結累計期間比 143百万円、14.0%減）となりました。営業利益面では、定期貸船に変更したことで運航費の減少、所有船の定期検査に伴う特別修繕引当金の取崩があり船費が減少したことで営業費用が大幅に減少し、160百万円の営業利益（同86百万円、116.7%増）となりました。

・不動産賃貸業

当セグメントにおいては、営業収益は、110百万円（対前第3四半期連結累計期間比0百万円、0.2%増）、営業利益は、33百万円（同2百万円、6.6%増）となりました。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ735百万円減少し、13,957百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金の減少などにより149百万円減少し、固定資産は、主に減価償却に伴う船舶の減少などで585百万円減少したことによるものです。負債は9,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ559百万円の減少となりました。これは、短期借入金、前受金の増加などにより流動負債が94百万円増加した一方、長期借入金、特別修繕引当金の減少などによる固定負債が654百万円減少したものであります。

純資産は、四半期純損失133百万円や配当金57百万円などにより株主資本の減少191百万円とその他有価証券評価差額金の増加によるその他の包括利益累計額の増加13百万円と少数株主持分の増加1百万円により、前連結会計年度末に比べ175百万円減少し、4,876百万円となりました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

（5）従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

（6）主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	70,400,000
計	70,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	19,320,000	19,320,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株で あります。
計	19,320,000	19,320,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年12月31日		19,320		702,000		114

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 10,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,270,000	19,270	
単元未満株式	普通株式 40,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	19,320,000		
総株主の議決権		19,270	

- (注) 1 「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、当社保有の自己株式であります。
2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式941株が含まれております。
3 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 玉井商船株式会社	東京都港区芝浦3-2-16	10,000		10,000	0.05
計		10,000		10,000	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「海運企業財務諸表準則」(昭和29年運輸省告示第431号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
海運業収益	4,709,098	4,762,126
海運業費用	4,190,907	4,492,903
海運業利益	518,191	269,222
その他事業収益	109,783	110,018
その他事業費用	32,258	30,757
その他事業利益	77,524	79,260
営業総利益	595,716	348,483
一般管理費	453,425	437,334
営業利益又は営業損失()	142,291	88,850
営業外収益		
受取利息	243	504
受取配当金	12,027	11,295
為替差益	-	15,845
保険解約返戻金	11,710	19,935
燃料油売却益	443	14,968
その他営業外収益	7,928	1,925
営業外収益合計	32,354	64,474
営業外費用		
支払利息	99,820	107,467
支払手数料	41,854	22,060
為替差損	51,403	-
その他営業外費用	4,189	1,081
営業外費用合計	197,267	130,609
経常損失()	22,621	154,985
特別利益		
固定資産売却益	1,016,904	-
特別利益合計	1,016,904	-
特別損失		
投資有価証券評価損	30,420	31,029
退職特別加算金	1,414	6,933
特別損失合計	31,834	37,962
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	962,448	192,948
法人税、住民税及び事業税	17,128	2,611
法人税等調整額	331,572	64,879
法人税等合計	348,701	62,267
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	613,746	130,680
少数株主利益	1,777	2,480
四半期純利益又は四半期純損失()	611,969	133,161

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	613,746	130,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,284	14,645
その他の包括利益合計	82,284	14,645
四半期包括利益	531,462	116,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534,171	119,319
少数株主に係る四半期包括利益	2,708	3,284

(2)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,054,606	1,870,545
海運業未収金	267,891	217,376
貯蔵品	293,854	340,403
繰延税金資産	105,505	26,800
その他流動資産	515,907	632,838
流動資産合計	3,237,764	3,087,964
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	9,027,567	8,388,396
建物（純額）	324,047	312,334
器具及び備品（純額）	5,842	8,665
土地	168,938	168,938
建設仮勘定	1,220,000	1,220,000
その他有形固定資産（純額）	5,592	5,870
有形固定資産合計	10,751,988	10,104,205
無形固定資産	4,179	4,162
投資その他の資産		
投資有価証券	497,359	490,513
繰延税金資産	120,620	192,239
その他長期資産	80,560	77,959
投資その他の資産合計	698,541	760,712
固定資産合計	11,454,708	10,869,080
資産合計	14,692,473	13,957,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	334,178	337,920
短期借入金	30,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	579,110	631,000
未払法人税等	25,194	1,832
前受金	600,368	654,542
賞与引当金	45,524	10,319
役員賞与引当金	8,800	-
その他流動負債	153,036	145,558
流動負債合計	1,776,212	1,871,173
固定負債		
長期借入金	6,862,264	6,381,574
繰延税金負債	431,867	366,428
退職給付引当金	126,836	93,170
特別修繕引当金	192,820	117,603
長期未払金	121,800	121,800
資産除去債務	11,897	12,046
その他固定負債	116,583	116,605
固定負債合計	7,864,069	7,209,228
負債合計	9,640,281	9,080,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	280,268	280,268
利益剰余金	3,895,952	3,704,860
自己株式	1,210	1,312
株主資本合計	4,877,011	4,685,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,107	33,949
その他の包括利益累計額合計	20,107	33,949
少数株主持分	155,072	156,877
純資産合計	5,052,191	4,876,643
負債純資産合計	14,692,473	13,957,045

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	594,045千円	670,053千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	57,933	3.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年5月18日 取締役会	普通株式	利益剰余金	57,930	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,684,346	1,024,752	109,783	4,818,881		4,818,881
セグメント間の内部営業 収益又は振替高						
計	3,684,346	1,024,752	109,783	4,818,881		4,818,881
セグメント利益	436,750	74,119	31,741	542,611	400,320	142,291

(注)1 セグメント利益の調整額 400,320千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,880,756	881,369	110,018	4,872,145		4,872,145
セグメント間の内部営業 収益又は振替高						
計	3,880,756	881,369	110,018	4,872,145		4,872,145
セグメント利益又は損失()	105,327	160,616	33,844	299,787	388,638	88,850

(注)1 セグメント利益の調整額 388,638千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第3四半期連結累計期間より、従来「その他」に含まれていた「不動産賃貸業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失()金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失()金額	31円69銭	6円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失()金額(千円)	611,969	133,161
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失()金額(千円)	611,969	133,161
普通株式の期中平均株式数(株)	19,310,572	19,309,674

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
当社は、平成25年1月9日に当社所有の特殊船1隻を売却しました。これにより第4四半期連結会計期間に特別利益105,114千円を計上する予定です。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月13日

玉井商船株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水 野 友 裕 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 川 幸 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている玉井商船株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結貸借対照表及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、玉井商船株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成25年1月9日に所有船舶1隻を売却した。
当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。